



Fukagawa Rotary Club

R I 第 2510 地区第 1 グループ

深川ロータリークラブ



RI2510 地区



例会プログラム

次年度会長セミナー報告

担当：次年度会長

3月28日

 (火)

NO. 2977 第 23 回例会



中西青少年奉仕副委員長卓話

例会案内

例会案内「3月～4月」

3月28日(火)	次年度会長セミナー P E T' S 報告
4月 4日(火)	会員増強委員会担当例会
4月11日(火)	法定休会 (例会変更)
4月18日(火)	地区協議会報告
4月25日(火)	観桜会
5月 2日(火)	法定休会

出席報告

3月14日例会

総会員数	33名 (出席免除者1名中1名出席)
欠席者数	10名 石川, 津田, 兎島, 佐藤, 武田, 宮岸, 寺島, 荒谷, 宮澤, 吉澤各会員
出席率	68.75%
前回メーキャップ	1名 宮澤会員
前回修正出席率	68.75%

前例会幹事報告

佐々木幹事

- 赤平 RC 案内及び会報の送付
- 岩手県山田ロータリークラブ 山田の作文 51 集送付
- ガバナーエレクト事務所 地区研修協議会案内

スマイルBOX

轡田 PAG 早退

累計額 ￥259,000

会長報告

飛弾野貴広副会長

理事会より 2 点ご報告がございます。

1. 例会の変更に関して
地区研修協議会の日程が 4 月 1 6 日となりましたので、4 月 1 1 日例会を休会とし、4 月 1 8 日 (本来は休会) を地区研修協議会報告といたします。
2. 本日より新型コロナウイルス感染防止用のパテーションを撤去致しました。
昨日厚生労働省より、マスク着用は個人の判断となりましたが、当クラブにおいては、成田昭彦 P 会長との協議により、今月いっぱいはいの会員の皆様にも着用していただくこととし、次月より個人の判断といたしますので、ご協力をお願いいたします

委員会報告

圓浄貴之会長エレクト

4 月 1 6 日に R I 2 5 1 0 地区 地区研修協議会がグランドパーク小樽にて開催されます。次年度各委員長は出席をお願いいたします。

米山奨学会 寄附金状況

12 月までの寄附金は前年同期と比べて 7.4 % 増 (普通寄附金 : 1.1 % 減、特別寄附金 : 10.6 % 増)、約 6,300 万円の増加となりました。12 月単月の特別寄附金においては前年より 2,600 万円増となり、2009 年度以降で最大の寄附額となりました。高額寄付の件数も多く、皆さまからのご支援に深く感謝申し上げます。1 月中旬には「2022 年度下期普通寄附金のお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

中西青少年奉仕委員会副委員長 卓話

RYLAは1971年に理事会で採択された国際ロータリーの常設プログラム（ロータリー青少年指導者養成プログラム）で、インターアクター、ローターアクター、ロータリアン、および一般の青少年の指導力を開発するためのものです。

目的として地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる特別な機会を設けるため、クラブ、地区、または多地区合同の規模で実施するものです。

■ロータリー青少年指導者養成プログラムの目標

1. ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を抱いていることを一層明らかにすること。
2. 選ばれた青少年指導者およびその資質のある人に実地訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年指導者となるよう激励、援助すること。
3. 青少年による青少年へのたえざる、力強い指導を奨励すること。
4. 青少年指導者として地域社会に尽くしている多数の青少年の優れた資質を公に表彰すること。どの種のプログラムを開発するにしても、そのプログラムを通じて上記の目的をどの程度達成することができるかを、考慮すべきである。

■活動カリキュラムの中心

1. 指導力の基礎
2. 良き指導者の倫理
3. 効果的指導力における伝達力の重要性
4. 問題解決と紛争管理
5. ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会で何をしているか
6. 自信と自尊心を培うこと
7. 地域社会の市民であり、世界市民であるという要素併せて地元に関連があり、地元の慣習にふさわしい方法で取り組まれている問題を考察すること。

■RYLAにおける支援（Service in RYLA）

若者たちに、奉仕理念を奨励し、これを育み、さらに奉仕への献身を教え込むために、RYLAの中心となるプログラムはロータリーの目的を鼓舞するものでなければならない。

クラブと地区は、倫理的リーダーシップ向上、チームビルディング、国際理解、善意、平和を

推進する奉仕活動とカリキュラムを含めることを奨励されている。

■RYLAに関するロータリアンの活動（Activities for Rotarians Involved in RYLA）
RYLAプログラムにかかわりのあるロータリアンは、次のことを行うよう奨励されている。
連絡を取り合い、情報を分かち合い、互いのRYLAプログラムに出席する。

多地区合同レベルや国際的レベルで、RYLAプログラムを組織する。

RYLA行事について情報をインターネットに掲載する。その際、主な研修資料を含める。

他団体からの候補者も含め、指導者養成の機会になかなか恵まれないRYLAプログラムの参加者を招待する。

RYLAプログラムの参加者がこれからの活動に引き続き関わる様、参加者に今後のRYLA活動の企画や指導に参加してもらう。

■RYLAセミナーおよびプログラム（RYLA Seminars and Programs）

RYLA研修会は、可能であればゾーンレベルでRYLAプログラムに関与しているロータリアン同士の情報交換を促進できるよう組織されるべきである。さらに、ガバナーと理事は、地区研修・協議会、地区大会、およびロータリー研究会のプログラムにRYLAを組み入れるよう奨励されている。

●第2510地区では1969年からチミケップ国際ロータリーキャンプという青少年育成キャンプが行われていました。そして今から50年前1973年柿本ガバナー年度の地区組織図の中に、ライラ委員会が出来ました。当時は英語読みではなく日本語の委員会名で青少年指導者養成委員会となっています。

この委員会に深川ロータリークラブ 河野通正さんがおりました。

河野通正さんは深川ロータリークラブ初代から4期会長をされた方で1970～71年度ガバナーをされており。深川ロータリークラブではあまりライラに係わっていないと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、地区でのライラ委員会設立当初から係わって、後に現在では活動をしておりませんが、深川での拓大ロータアクトクラブに発展して行ったようです。



会長 佐藤 幸治
幹事 佐々木 弘有

会長エレクト 圓浄 貴之
副幹事 寺島 康宏

副会長 飛騨野 貴広
会計 廣上 晃士



例会運営委員会

委員長 大西 祥太
副委員長 伊東由紀夫

深川RC

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川 ■例会日 毎週火曜日
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号 ■姉妹クラブ 南海RC（韓国）
プラザ深川3F TEL (0164)34-6228 ■第2510地区第1グループ

■URL [http://mypage.fukanavi. C Om/rotary/](http://mypage.fukanavi.C Om/rotary/) ■Mail fukagawa-RC@club502.jp